

授業科目(ナンバリング)	国際栄養論 (IA307) (実践的教育科目)			担当教員	高江洲 有沙 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
世界には様々な食文化を持った国や地域、民族が存在する。それらの食文化を理解するためには歴史や文化に対して多くの知識が必要である。これからの管理栄養士は海外での活躍も期待されており、健康、栄養、諸外国の歴史や文化・習慣を理解し、多角的な視野を持って栄養問題の課題解決に取り組む姿勢や方法を学ぶことを目的とする。							②③⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	エビデンスに基づいた健康・栄養の情報を伝えることができ、途上国及び先進国における栄養問題の課題と取り組みについて総合的に考えることができる。				・定期試験	20%	
情報収集、分析力	諸外国の文化的背景と食生活に関連した情報を収集し、健康について総合的に分析することができる。				・課題レポート	15%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループディスカッションを通して自ら日本と途上国の解決すべき栄養課題を導き出し、説明することができる。				・グループディスカッション及びグループ発表	15%	
多様性理解力	国際的な視点で、問題意識を持ち、諸外国の健康・栄養の課題とその取り組みについて理解できる。				・定期試験	50%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を70%とし、筆記試験と穴埋め式の試験を行う。第8回目の課題レポートの成績を15%とし、小論文形式で、グループディスカッションの内容に関する課題を指示する。 ・グループディスカッション及びグループ発表の成績は15%とし、課題に沿ってグループごとに発表を行う。グループ全員が分担して発表することによって、的確に発表できているか、理論性や理解度を評価する。 ・レポート及びグループ発表のフィードバックは授業中に行う。 							
授 業 の 概 要							
<p>国際化が急速に進む日本において様々な国の人々が生活をしており、諸外国の食文化や習慣を理解した食の教育が必須となってくる。教員の国際協力の実務経験を活かして、具体的な事例を紹介しながら持続可能な開発目標 (SDGs) に基づいた日本と世界の取り組みや、諸外国の歴史・食文化・習慣について学修する。</p> <p>授業では、配付資料 (プリント) とパワーポイント、グループディスカッションや食の体験等を用いて行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書： 特に指定はしない。授業中、適宜資料を配付する。</p> <p>参考書： 「国際保健医療学」日本国際保健医療学会 杏林書院</p> <p>指定図書： 特に指定はしない。国際協力や国際栄養に関する書籍を読むことをすすめる。</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>諸外国の健康や食文化に関するニュースの情報収集を意識的に行い、日本と諸外国の違いや共通する部分について考え、視野を広げていくことを期待する。</p> <p>授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁である。また、特別な事情を除き無許可での途中退出は不可とする。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	国際栄養論の概説並びに受講生に望むこと、受講上の注意点、評価方法について	
2	歴史（日本と諸外国）	日本の食文化の歴史とその背景、先進国・途上国の食文化と習慣の遍歴について	復）配付資料（日本と諸外国の歴史）
3	食糧と環境問題①	世界の食糧事情	復）配付資料（食文化歴史）
4	食糧と環境問題②	世界の環境問題（水と汚染、農業、漁業等）	復）配付資料（食料問題）
5	国際機関と日本の国際援助	国際機関の役割や日本のODAについて（医療・保健分野を主とした内容）	予）どのような国際機関があるのか調べておく 復）配付資料（日本のODA）
6	先進国と途上国の栄養課題①	先進国の栄養課題	予）先進国とは何かを調べておく 復）配付資料（先進国の栄養課題）
7	先進国と途上国の栄養課題②	途上国の栄養課題	予）途上国とは何かを調べておく 復）配付資料（途上国の栄養課題）
8	グループディスカッション	途上国と先進国の栄養課題について、グループで解決策を考える 課題レポート	予）途上国と先進国の栄養課題について個人の意見を考えておく
9	MDGs と SDGs	ミレニアム開発目標（MDGs） 持続可能な開発目標（SDGs）	予）日本や諸外国のSDGs取り組みを調べておく 復）MDGs、SDGsについて
10	各国の健康政策（先進国）	先進国での取り組み（日本、米国、英国等）	復）配付資料（SDGs）
11	各国の健康政策（途上国）	途上国での取り組み（NCDs）	復）配付資料（健康政策） 予）配付資料（NCD）
12	食体験	グループでの調理実習あるいは宗教食等の試食	予）様々な食材に対して調理方法を考えておく
13	多職種との連携	チーム活動の手法や管理栄養士としての視点	復）配付資料（活動の手法）
14	グループディスカッション	少人数による与えられた課題のグループディスカッション	グループ発表の準備
15	グループ発表	グループの発表と総まとめ	予・復）世界の国々の栄養問題解決に向けての取り組みを考える
16	定期試験		

注）テーマは変更することがある